

令和4年度 第1回 球磨川・人吉地区かわまちづくり協議会



令和4年11月21日



人吉市

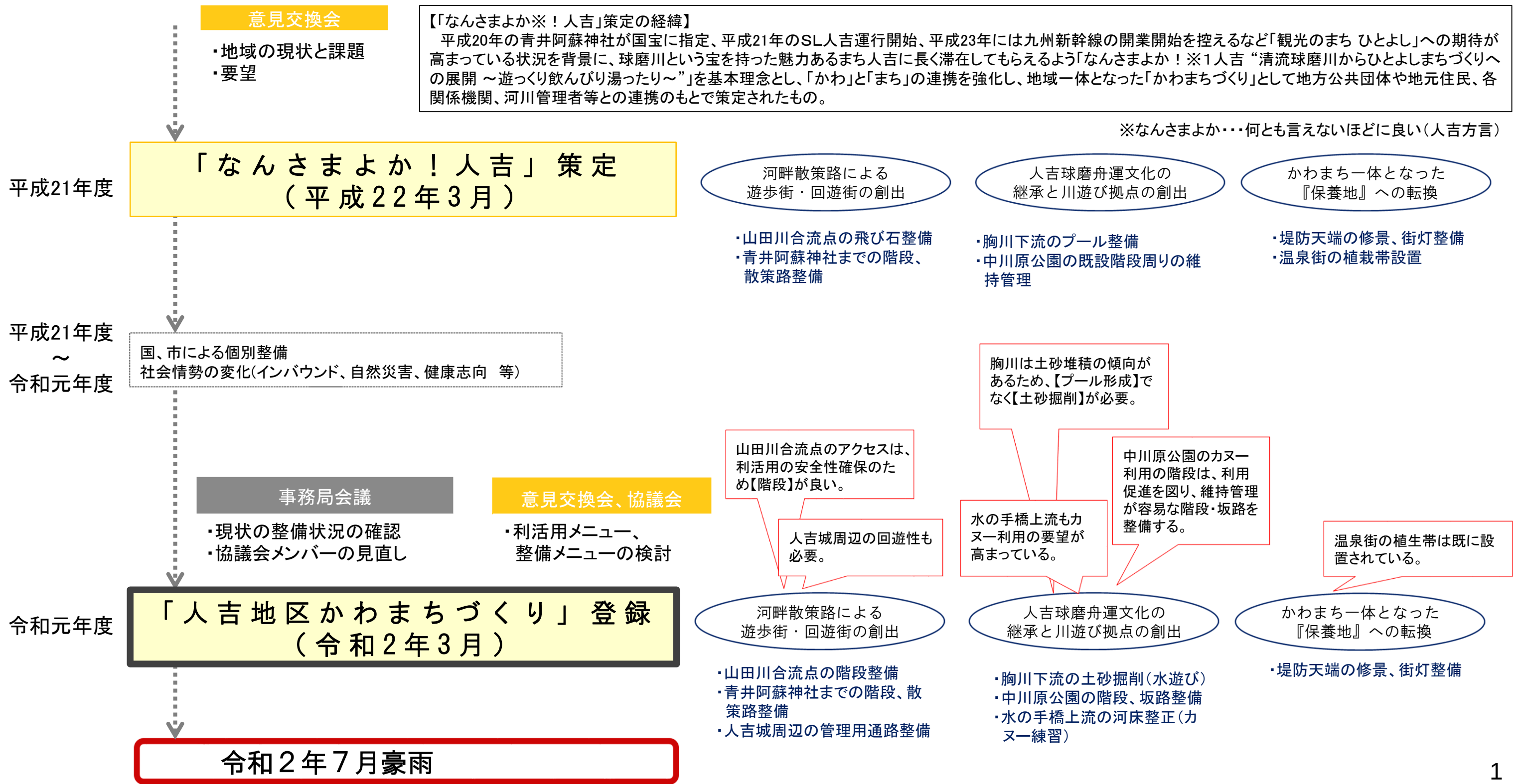


国土交通省 八代河川国道事務所

1. これまでの振り返り

(1) 人吉地区かわまちづくりの経緯

- 「人吉地区かわまちづくり計画」は、「なんさまよか！人吉」(平成21年度に人吉市で住民との意見交換会をふまえとりまとめた構想)をもとに、近年の社会情勢などを踏まえ、事務局(人吉市・八代河川国道事務所)及び協議会で計画の見直しを行いました。
- 見直しにあたっては、事務局にて、平成21年度以降の整備の状況を確認し「なんさまよか！人吉」で挙げられていた整備計画のうち未整備のものを把握するとともに、協議会委員を選定しました。(協議会委員は、「なんさまよか！人吉」をとりまとめた方々と意見交換し、選定しています。)
- 協議会委員決定後、協議会にて「なんさまよか！人吉」を見直し、「球磨川・人吉地区かわまちづくり計画」を作成しました。



1.これまでの振り返り

(1)人吉地区かわまちづくりの経緯(球磨川・人吉地区かわまちづくり協議会設立総会の主な発言内容)

日 時:令和元年12月16日(月)18時～
場 所:人吉市役所仮庁舎 1階会議室
会次第:
1. 開会
2. 自己紹介
3. 議題
(1)設立趣旨書(案)について
(2)規約(案)について
(3)役員選任について
(4)球磨川・人吉地区かわまちづくり事業の概要(案)について
(5)今後の進め方について
(6)その他
4. 閉会

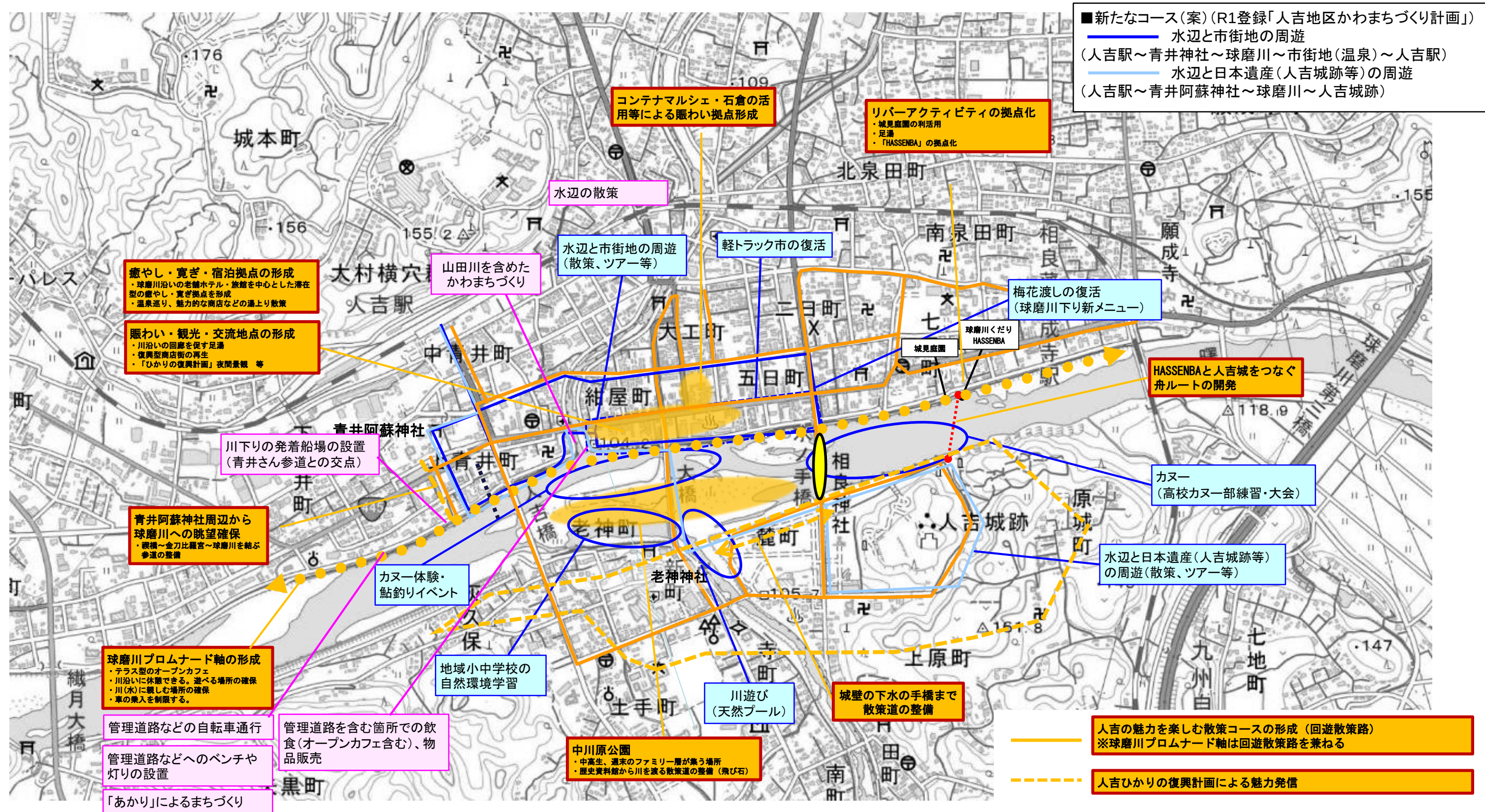
出席者	所 属	出席状況
	きじ馬スタンプ協同組合	欠席
	人吉商工会議所(青年部)	出席
	一般社団法人 人吉温泉観光協会	出席
	人吉温泉旅館組合	出席
	ひとよし温泉女将の会「さくら会」	出席
	ホテル サン人吉	出席
	九日町商店街の女性の会(yokoの会)	出席
	球磨川漁業協同組合	出席
	球磨川くだり 株式会社	出席
	人吉市立人吉東小学校	出席
	球磨川水系ネットワーク	欠席
	人吉市企画政策部	出席
	熊本県県南広域本部球磨地域振興局 総務振興課	出席
	国土交通省八代河川国道事務所	出席

事務局:人吉市、国土交通省八代河川国道事務所

主な意見

かわまちづくり事業の概要案について	計画案の内容等については、今回の内容で決定なのか。または、今後会議をしながら検討していくものか。 →今後、計画案について協議会を通じて意見交換しながら決めていく予定である。
	以前あったライトアップのメニューはなくなったのか。 →街灯はアユ漁(刺し網)、魚の生息、景観等に影響する可能性があるため、街灯の位置や、色、高さ等の詳細について今後協議会で検討していく予定である。
	水際の管理用通路等にゴミ等がたまったりするので今後対策を検討する必要がある。
	観光の面からみると、以前実施したアユやなは好評だったため、今後復活できればよい。
	天然プールは球磨川の本流に近い、子供が流された場合は怖い。
	天然プールのための河道掘削については、出水のたびに、埋められるため、維持管理の少ない方法があればよい。
	人吉城跡付近の管理用通路は景観上の心配がある。文化庁の許可も必要となる。
	球磨川～青井阿蘇神社の散策路の舗装については、現在青井阿蘇神社付近を通ると音がするので、今後検討する際に、騒音のことも考慮してほしい。 →舗装のタイプ等については、今後協議会で、検討していく予定である。
	胸川合流点から水ノ手橋付近までの管理用通路は周回できるのか。 →今後、協議会で、検討していく予定である。
その他	階段について、手摺をつけると利用しやすくなる。
	以前、堤防沿いで軽トラ市を3年間継続した。楽しんで取り込んだ3年間だった。
	インバウンドの増加、人口減少等状況が変わってきている中、今回、球磨川・人吉地区かわまちづくりの発足はうれしく思っている。
	10年前、新町の胸川で子供の川の水浴場を3年間継続した。今後、子供のためのかわまちづくりや、観光と連動したかわまちづくりができればよいと思う。
	現在の子供たちは夏休み中に外遊びしない子が多い。自然の川で安全安心で川遊びのできる環境ができれば、子供が外に出るきっかけになるかと思う。

〈参考：令和元年度登録時及び新しい計画（復興まちづくり計画等の利活用計画）（案）〉



- R1登録「人吉地区かわまちづくり計画」(利活用案)
- R3.10策定「人吉市復興まちづくり計画」のうち、かわまちづくりとの関連が深いもの
- スマートシティ構想(ライティング防災アラートシステム)照明設置箇所
- その他市によせられているご意見

1. これまでの振り返り

(1) 人吉地区かわまちづくりの経緯

復興に向けた取り組み: 中川原公園の整備

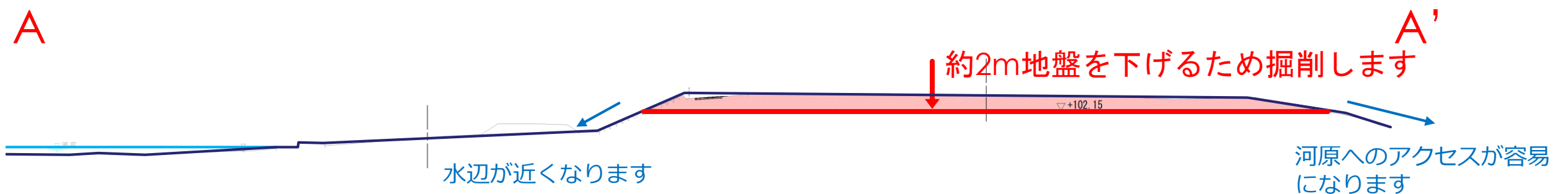
洪水時に球磨川の水位を下げるため、中川原公園を約2m掘削

工事期間: 令和4年9月5日～令和5年3月15日予定

工事内容: 地盤を下げるための掘削など



A-A'横断図



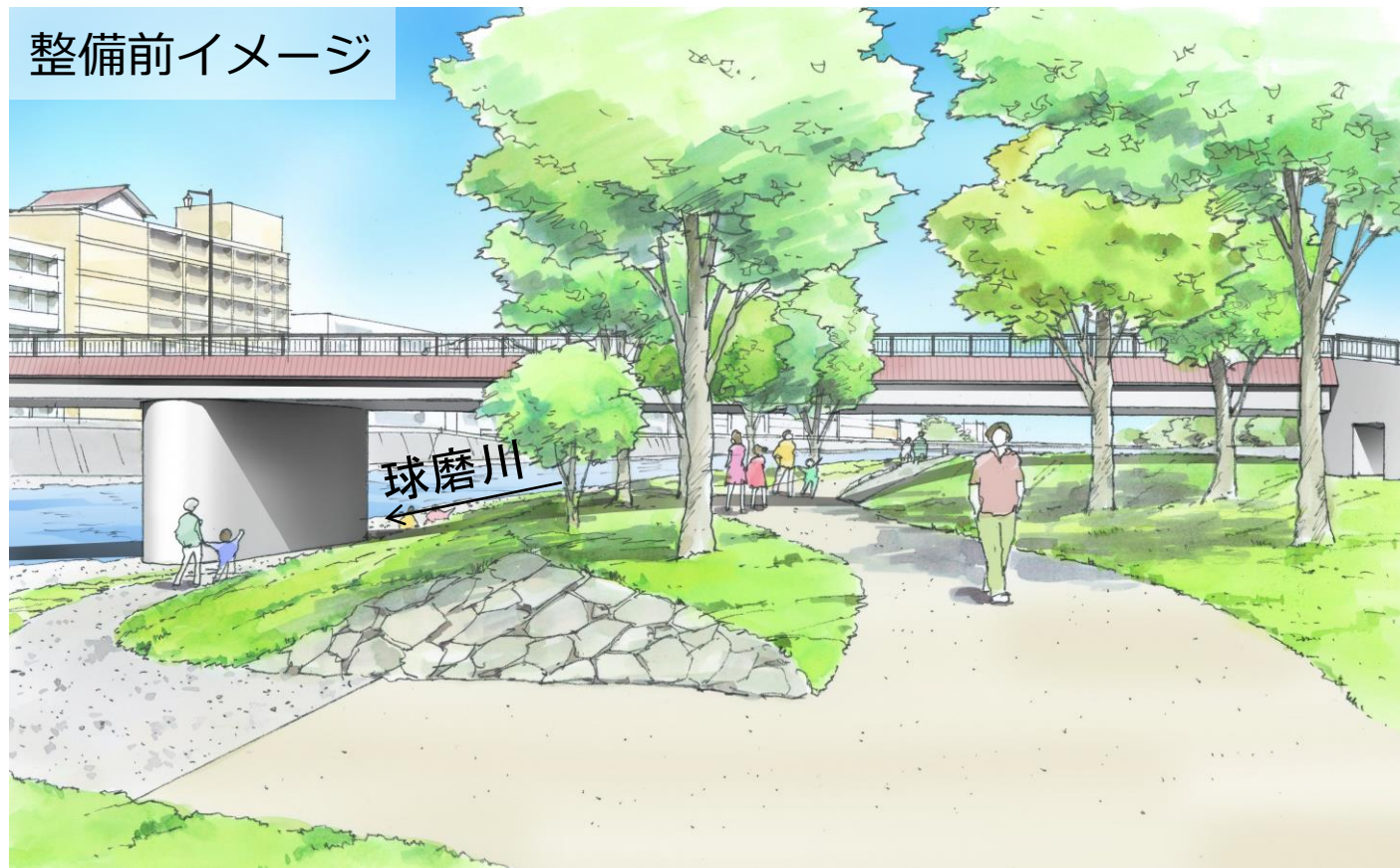
1. これまでの振り返り

(1) 人吉地区かわまちづくりの経緯

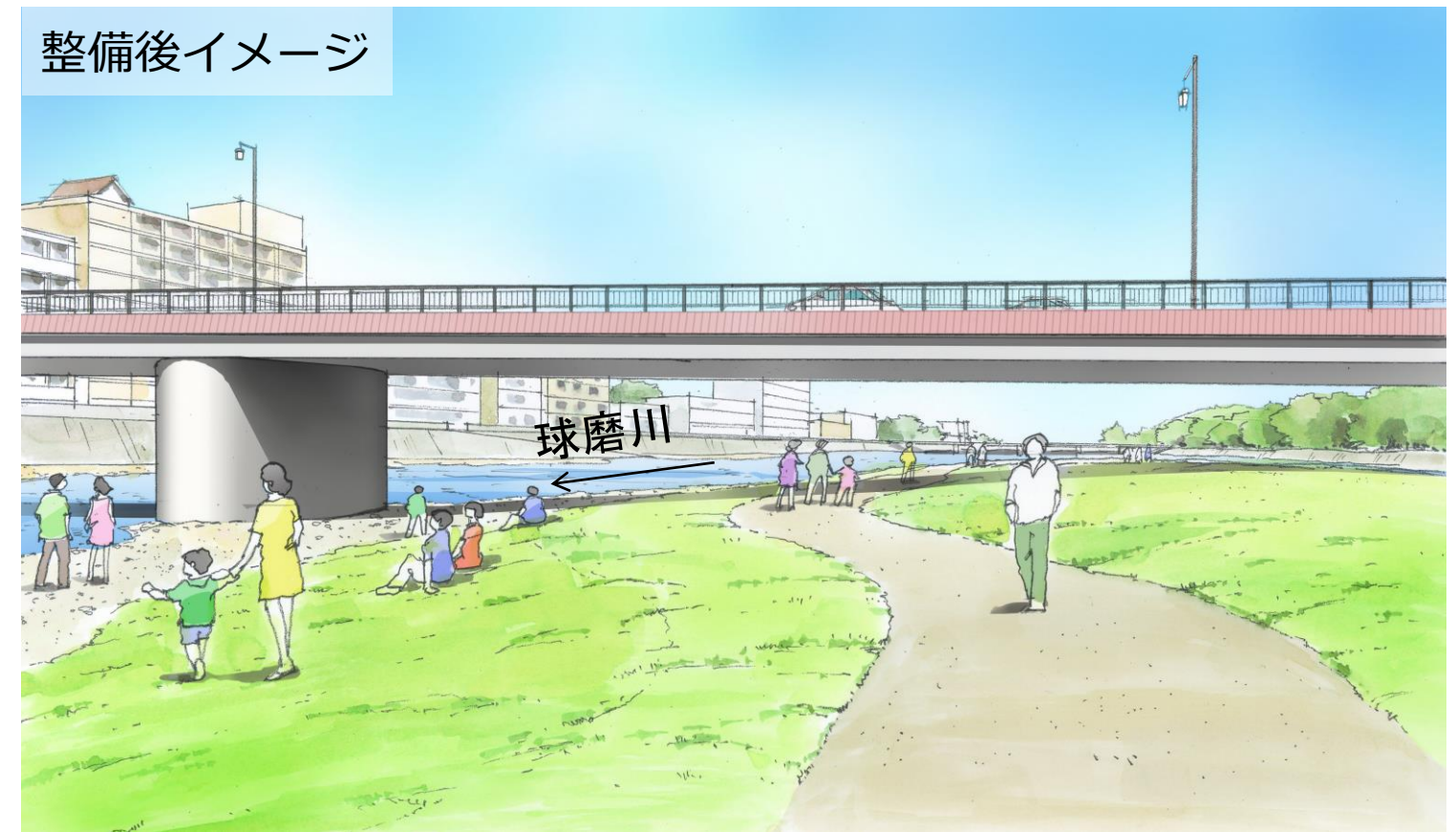
復興に向けた取り組み: 中川原公園の整備

【人吉大橋より下流】

整備前イメージ



整備後イメージ



・水辺の散策が可能になり、また、河原へも下りやすくなります。

※ 整備イメージであり、整備内容はこれから議論します。

1. これまでの振り返り

(2) かわまちづくりとは かわまちづくり支援制度の概要

かわまちづくりとは、河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取り組みです。(かわまちづくり登録件数:252箇所 ※令和4年8月時点)

“かわづくり”と“まちづくり”が一体となった 良好な水辺空間の形成

使いきれていない地域資源(魅力)
⇒歴史・文化・景色・水辺
・高水敷・堤防 など

連携

既存の事業・イベント
⇒まちづくり、健康づくり など

地域住民(市民・団体)の
新しい発想

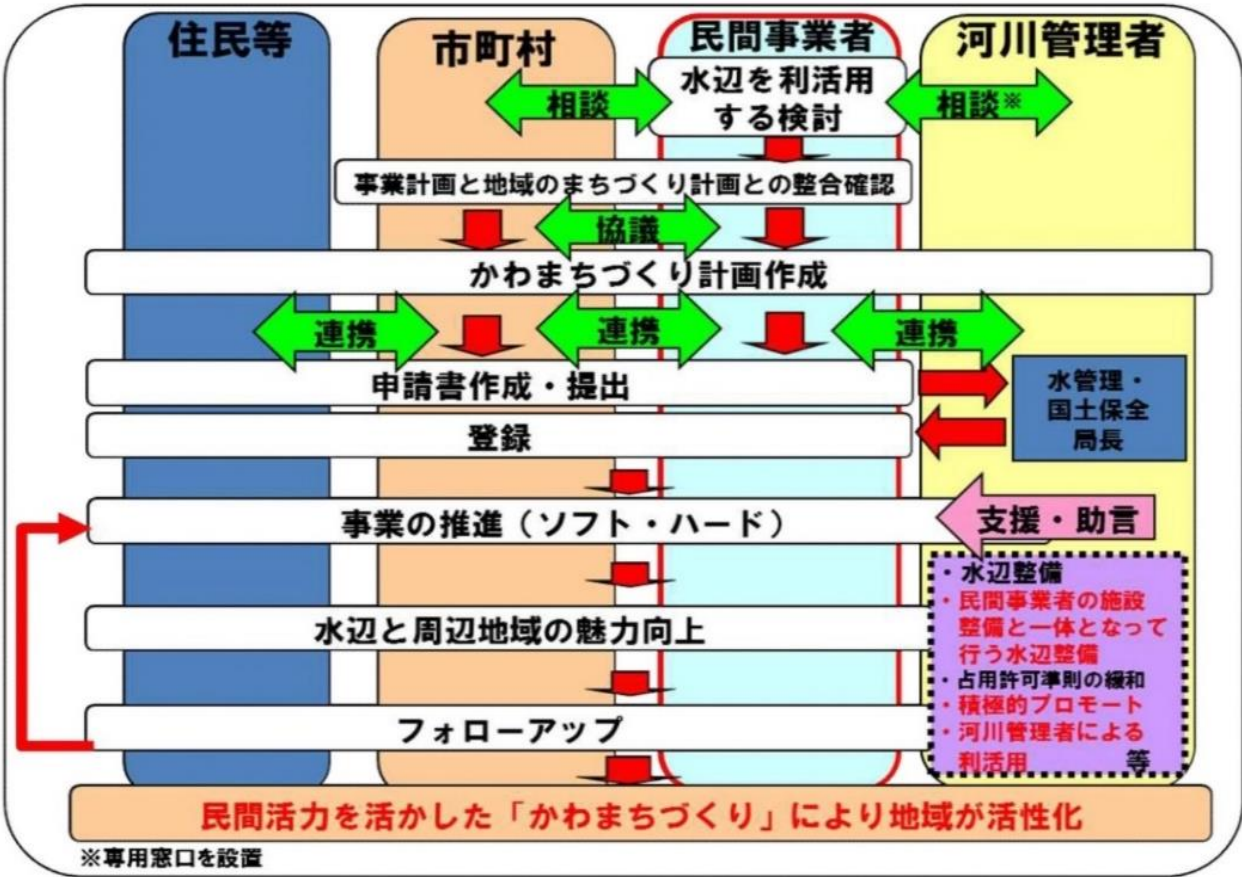
川を日常的に楽しめる『場』に変化させ、交流の拠点に
そして、魅力的な『まち』へ

1. これまでの振り返り

(2)かわまちづくりとは かわまちづくりの進め方

かわまちづくりでは、利活用の中心となる地域の方々が主体となり、計画の内容(利活用や整備のニーズや方向性等)を検討し、市が申請書を提出します。

登録後は、市と国で整備をし、地域の方々に継続的に利活用をしていただくとともに、維持管理も連携し行っていきます。



【役割分担(イメージ)】

	住民等	推進主体(市)	河川管理者(国土交通省)
計画策定	・利活用や整備のニーズ、方向性	・他計画との整合(景観、都市計画等) ・市長名でかわまち申請	・河川整備計画との整合 ・かわまち申請補助(助言)
利活用	・継続的な利活用の実践	・住民等協働による利活用 の実践のサポート	・ソフト対策支援(都市・地域再生等利用区域の指定等)
整備	—	・上物整備(トイレ、ベンチ、植樹 等)	・基盤整備(河川敷の整正、散策路、階段 等)
維持管理	・利活用と併せた維持管理(清掃、草刈り等)	・定期的な維持管理(利用施設の補修、 除草等)	・河川管理上の維持管理(護岸補修 等)、出水後の土砂撤去等

住民等

- ・クリーン作戦等のイベント開催
- ・除草、清掃(日常利用箇所)
地域の清掃活動等での清掃、除草



クリーン作戦による清掃



地域住民による清掃、除草

推進主体(市)

- ・整備箇所の占用 → 維持管理の委託
 - ・利用施設、新規整備施設の点検、維持修繕
 - ・日常の土砂撤去、除草、清掃 等
 - ・小規模な塵芥、土砂撤去
- 例) 樹木の手入れ
整備した階段や遊歩道の点検、補修
高水敷の除草、清掃
出水後の塵芥処理や土砂撤去等



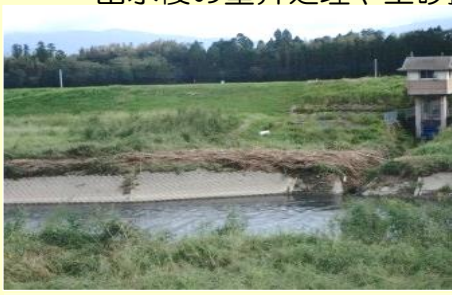
樹木の手入れ



高水敷の除草

河川管理者(国)

- ・河川管理施設の点検、維持修繕
 - ・占用範囲外での維持管理
 - ・大規模出水等による災害復旧
 - ・大規模な塵芥、土砂撤去
- 例) 堤防や護岸の点検、補修
河道内の堆積土砂撤去、法面除草
堤防、護岸等被災した場合の復旧
出水後の塵芥処理や土砂撤去等



大規模な塵芥、土砂撤去



堤防、護岸等の災害復旧

1. これまでの振り返り

(2) かわまちづくりとは かわまちづくり支援制度(国土交通省の支援)

市町村等からの申請にもとづき計画の登録を行い、国土交通省では親水護岸などのハード整備のほか、河川空間へのオープンカフェの設置をはじめとした、地域のニーズに応じて河川空間の多様な利用を可能とする「都市・地域再生等利用区域」の指定を行うなどのソフト対策の支援を実施します。

ソフト施策による支援

- ・都市・地域再生等利用区域の指定等による民間事業者等のオープンカフェ等への河川空間の多様な利活用の促進
- ・優良事例に関する情報提供や必要な調査等により、計画の実現を支援

都市・地域再生等利用区域の指定の適用事例



遊歩道の民間活用
(道頓堀川／大阪市)



オープンカフェの設置
(京橋川／広島市)

先進的な取組の情報提供



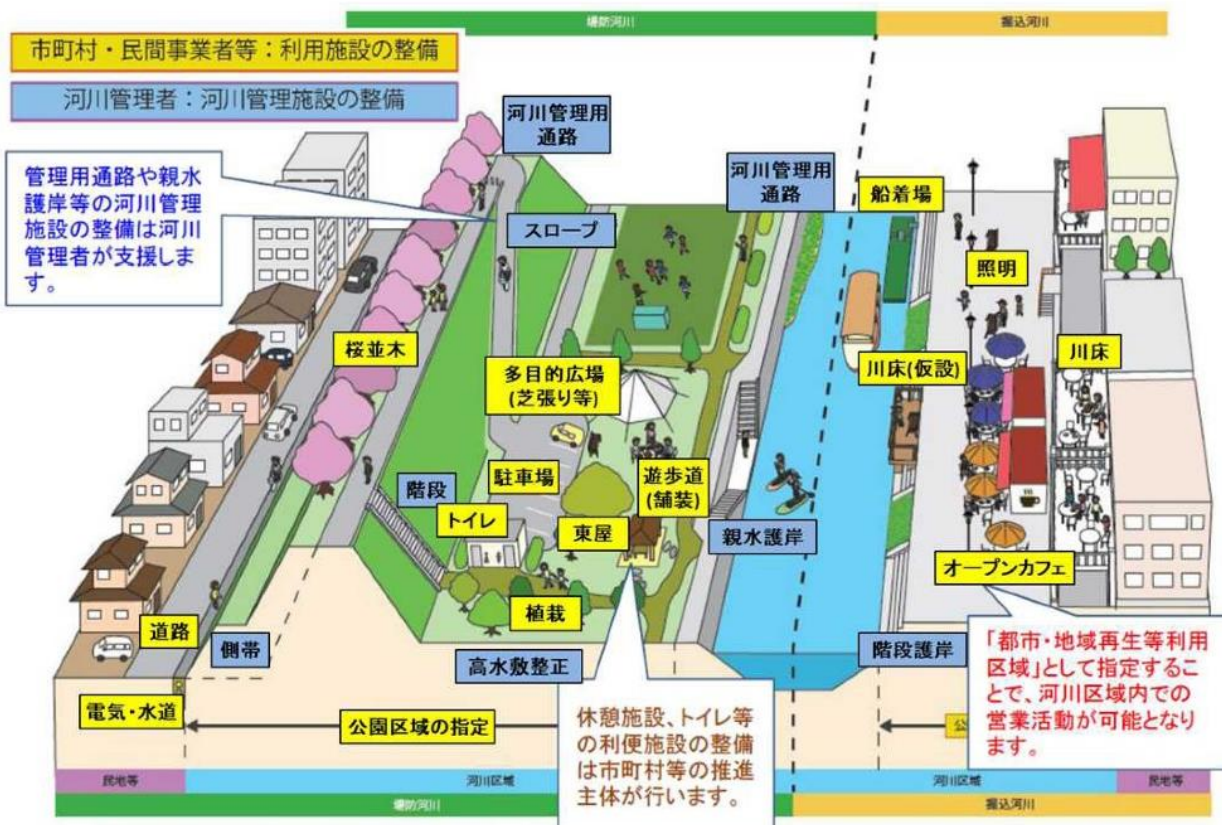
民間事業者の参加
(信濃川／新潟市)



賑わい拠点の整備
(木曽川／美濃加茂市)

ハード施策による支援

- ・治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理用通路や親水護岸等の施設整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。
(市町村、民間事業者が河川空間の利用施設を整備)



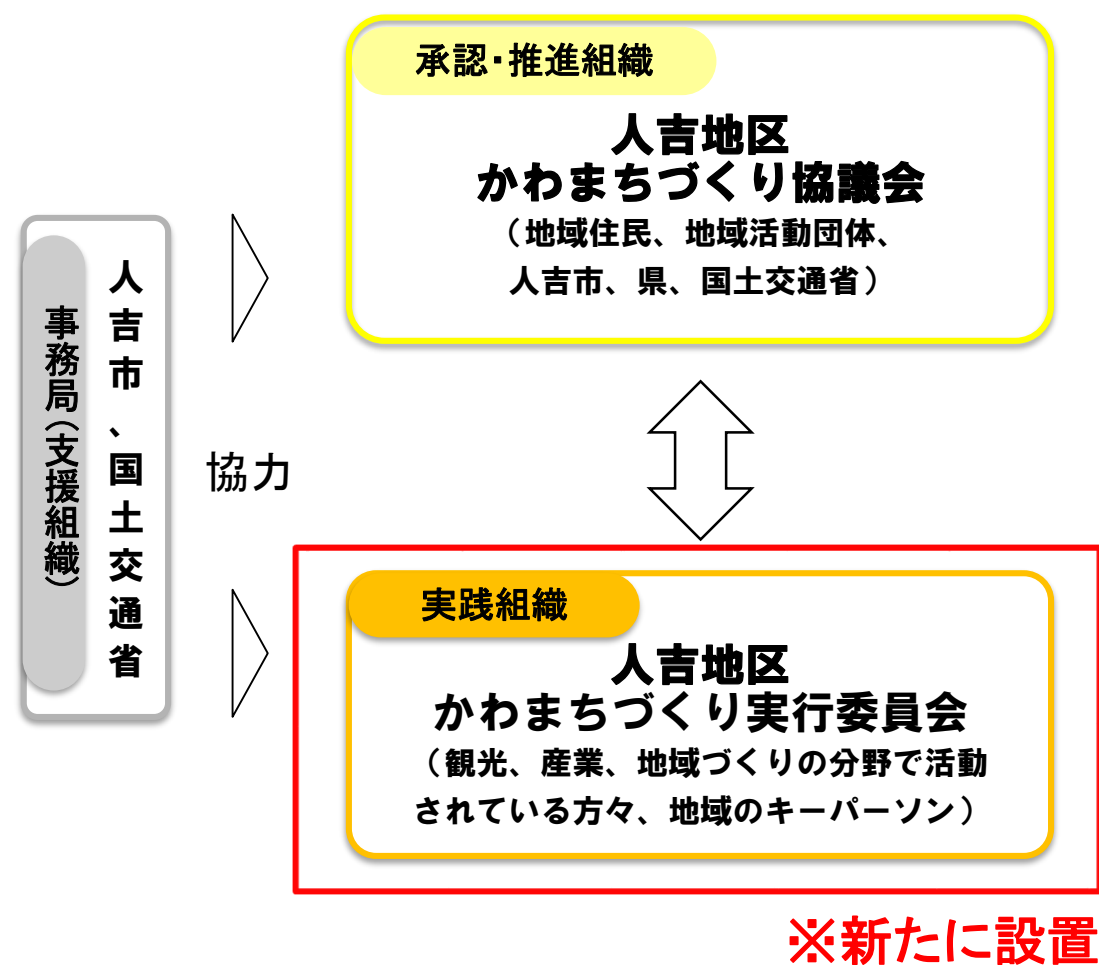
河川管理用通路の利用
(最上川／長野市)



親水護岸の利用
(新町川／徳島市)

2. 実行委員会立ち上げについて

- 「人吉地区かわまちづくり計画」の策定にあたっては、下記の協議会にて意見交換を行いました。
- 計画の実践にあたっては、下部組織である実行委員会を設立し、社会実験※を行いながら具体的な利活用(計画、時期、場所、体制、ルール等)や整備(位置、規模等)、維持管理(主体、手法等)を議論します。



●人吉地区かわまちづくり協議会
(「人吉地区かわまちづくり R2.3計画策定時」)

専門分野	所 属	役 職
観光・まちづくり	きじ馬スタンプ協同組合	事務局長
	人吉商工会議所(青年部)	顧問
	一般社団法人 人吉温泉観光協会	副代表理事
	人吉温泉旅館組合	組合長
	ひとよし温泉女将の会「さくら会」	会長
	ホテル サン人吉	代表取締役
	九日町商店街の女性の会(yokoの会)	会長
産業関係	球磨川漁業協同組合	組合長
	球磨川くだり 株式会社	
市民団体	球磨川水系ネットワーク	代表
教育関係	人吉市立人吉東小学校	校長
報道機関	人吉球磨月刊情報誌「どうぎゃん」	代表
行政	人吉市企画政策部	部長
	熊本県県南広域本部球磨地域振興局 総務振興課	課長
	国土交通省八代河川国道事務所	副所長

2. 実行委員会立ち上げについて

実行委員会の構成とルール(案)

- ・ 構成員は所属とし個人としない。
- ・ 委員としての出席は各所属より1名とするが、複数名随行することは可能とする。
- ・ 委員の中から代表者(会長)を互選いただく。
- ・ 適宜、話し合う内容に合わせてオブザーバーの参加者を可とする。
- ・ 詳細は、第1回実行委員会で規約により確認いただく。

所属	備考
人吉商工会議所 青年部	
人吉温泉観光協会	
人吉温泉旅館組合	
球磨川ラフティング協会	
球磨川漁業協同組合	
球磨川くだり株式会社	
きじ馬スタンプ協同組合	
柴田 祐(熊本県立大学 教授)	アドバイザー (青井復興まちづくり推進委員会及び中心市街地復興まちづくり推進委員会の委員長)
星野 裕司(熊本大学大学院 准教授)	アドバイザー (青井復興まちづくり推進委員会及び中心市街地復興まちづくり推進委員会の副委員長)

2. 実行委員会立ち上げについて

準備会の開催報告

日 時: 令和4年10月18日(火)14時～
場 所: 人吉市役所3階301会議室
会次第:
1. 開会
2. 自己紹介
3. 議題
(1)かわまちづくりについての説明
・はじめに
・「人吉市復興まちづくり計画」について
・かわまちづくりとは
(支援制度の概要、できること・できないこと、進め方・役割分担)
・人吉地区かわまちづくりについて
(経緯、進め方、体制、スケジュール案)
(2)意見交換
4. その他
5. 閉会

主な意見

人吉市球磨川周辺でできそうなこと	中川原公園での夜市などのイベント 開催する際は、移動式でもトイレが必要
	中川原公園での、観光のためのやな設置
	中川原公園を発着場とした、ラフティング
	織月大橋の下流側の広場としての活用(西瀬大橋の工事のために整地された場所。「くまりば」からのアクセスも良い。) ドッグラン、カワセミやヤマセミなど鳥の観察
	川沿いでのキッチンカー
	川沿いのイルミネーション
	トイレ付きの屋形船の運行 (昼間:中川原公園のイベントへの運行、夜間;人吉城跡や橋のライトアップのなかナイトクルーズ) (夜の屋形船は、周遊するのは危険なので、今は、安全な場所で停泊)
	子ども達も川で釣りをやってほしい。
	子ども達のイベント(学校の先生にも協力を得ながら) 子ども達に川に親しんでもらうためには、川に降りる階段が必要
	子ども達に、川の面白い所だけでなく危ないところも知ってもらう。 ラフティング協会にレスキュー法など講師に教えて頂くのも良い。
球磨川の魅力	冬の霧深い球磨川を散歩するのが最高によい。10時くらいまで霧が残っている。 冬の方がきれい。
	中川原公園周辺の瀬。流れが速く川が近い。波がたつのも見られる。
	球磨川のアユは全国的に知名度が高く、釣りの有名人もいる。(アユの成長に必要なエサ(コケ)の生長に川の濁りが影響するので気になっている。)
その他	社会実験を実施する場合もある程度のマンパワーが必要。マンパワー重視というわけではないが、組織への声掛けが重要。
	建物が川に背を向けて建つなど、なかなか川を活かせていない。 川の景観を活かしたまちづくり、エリアづくりができないか。(例えば、HASSENBAを中心としたエリア)
	社会実験ではどのような目標像を目指すのか。(目標数、イベント的な集客か日常的な水辺の賑わいか) 全国の事例(取組内容、経済効果等)を参考にしながら具体的に考えていきたい。

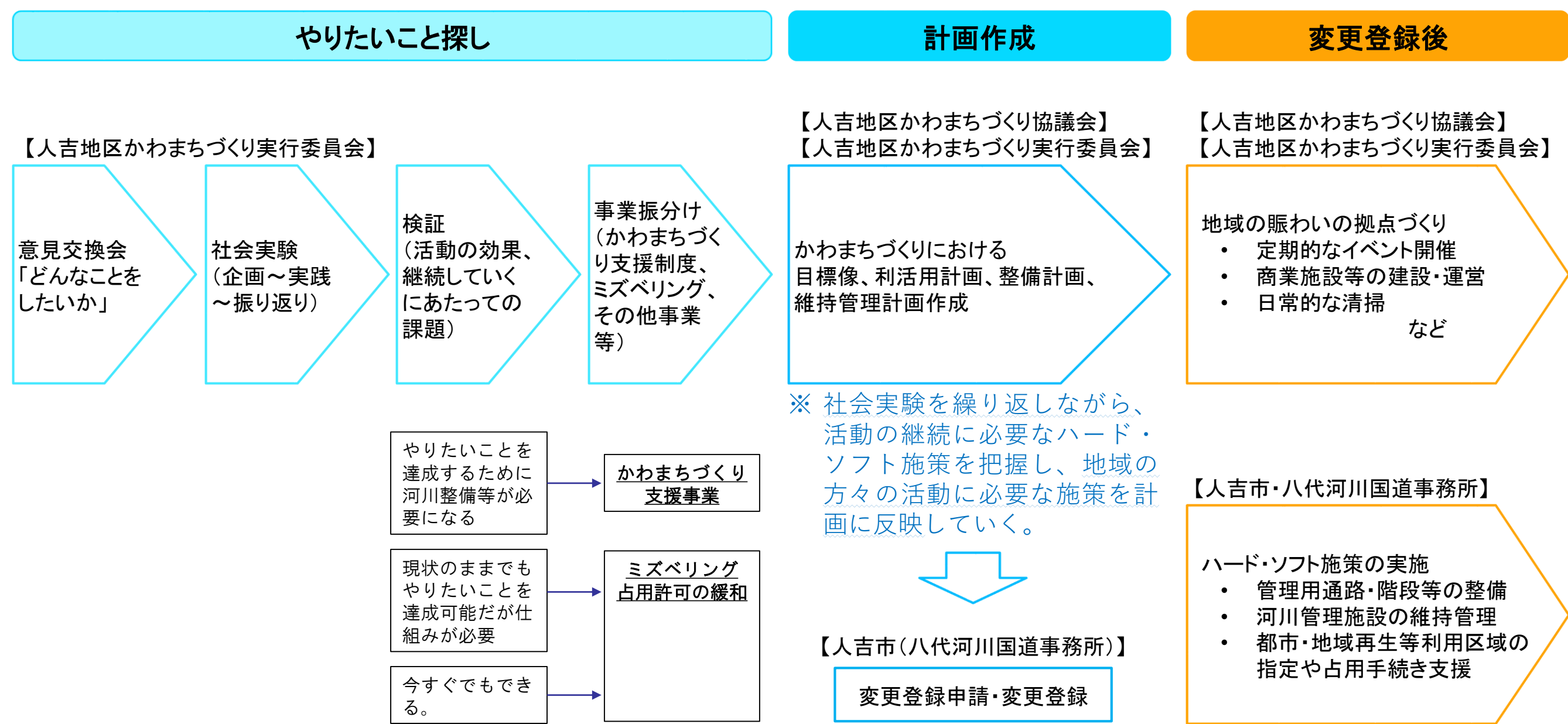
準備会出席団体 (順不同)

所 属	出席状況
人吉商工会議所 青年部	出席
人吉温泉観光協会	出席
人吉温泉旅館組合	出席
球磨川ラフティング協会	出席
球磨川漁業協同組合	出席
球磨川くだり株式会社	出席
きじ馬スタンプ協同組合	欠席

オブザーバー: 熊本県県南広域本部球磨地域振興局
事務局: 人吉市、国土交通省八代河川国道事務所

3. 球磨川・人吉地区かわまちづくりの今後のスケジュールについて

- 「人吉地区かわまちづくり計画」は、【相良2万2千石の歴史と舟運文化に継承された人吉球磨のかわまちづくり】をキャッチフレーズとし、令和2年3月に登録されました。R2.7豪雨後、復興まちづくり計画が令和3年10月に策定され、また、スマートシティ構想も進められています。
- この度、復興の取組みも踏まえ「人吉地区かわまちづくり計画」の**変更登録**を行う予定です。**(令和6年8月登録目標)**
- かわまちづくりでは、まちや川に対する思いを持ち、地域の方を巻き込みながら**継続した活動を行うことが重要**です。
- 計画作成にあたっては、地域の方々の意見を把握し、様々な活動(社会実験等)をとおして、**活動の効果や継続していくにあたっての課題を共有**します。
- 課題の中でかわまちづくり支援制度にて実現可能と考えられるものについて、引き続き社会実験を実施しながら、**地域の方々が議論し**、利活用計画や整備計画等に反映していきます。



3. 球磨川・人吉地区かわまちづくりの今後のスケジュールについて

- ・ かわまちづくり計画の内容(利活用計画、整備計画、維持管理計画)は、**実行委員会**にて社会実験を行いながら**地域主体で検討**します。
- ・ **協議会**では、計画に対するアドバイスや**承認**を行います。
- ・ 令和4年度より意見交換や社会実験を行いながら計画を詰め、**令和6年8月に登録**を目指すことを予定しています。

	R4年度						R5年度				R6年度				R7年度以降
	計画検討										事業化				計画実行
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
協議会		● 11/21協議会 (実行委員会設立について)			● 協議会 (社会実験案の確認)				● 協議会 (社会実験の振り返り)		● 協議会 (かわまちづくり計画の確認)				かわまちづくり計画の推進 (実施状況の確認、具体計画の確認)
実行委員会	● 10/18準備会 ・かわまちづくり で目指す地域像	● 11/29実行委員会 ・利活用方法の検討 ・社会実験の企画・立案・課題整理 ・かわまちづくり計画の検討	● 第2回実行委員会 ・現地視察	● 第3回実行委員会 ・社会実験の企画・立案	● 社会実験(企画・運営・検証)										
事務局の動き	● 10/24現地説明会 ・かわまちづくり 協議会再開	● 協議会、実行委員会の運営 (意見とりまとめ、かわまちづくり計画への反映)													
											◆ かわまちづくり計画 申請(4～6月)	◆ 登録(8月)			測量・設計・整備

※ かわまちづくり計画登録の申請受付は、年1回(4月)となっています。